

# 令和6年度 事業報告書

社会福祉法人ゆきわり会

事業種別	幼保連携型認定こども園・一時預かり事業
事業所名	SHINJO

# 目 次

項 目	ページ
事業総評	1
教育・保育の運営方針 フロー図	2
目的及び運営方針 教育方針	3
教育及び保育の中期運営方針	4～5
短期目標に関わる取り組み	6
経営する事業	7
施設詳細	8
クラス編成	8
年間行事	9
健康管理	9
衛生管理	10
栄養管理	10
職員の処遇	10～12
健康管理	13
研修計画	13
災害対策	13
地域社会との連携推進	14
内部研修 外部研修	15
リスク管理状況	16
令和6年度 年間行事表	17
アンケート集計結果	18～19
令和6年度保育教諭の自己点検評価	20～22
令和6年度 本人総合評価（保育教諭）	23

# 1. 令和6年度事業総評

令和6年度3月末日現在、園児数122名(1号認定8名、2・3号認定114名)となり FIVEROOM21名、FOURROOM24名、THREEROOM19名、TWOROOM17名、ONEROOM 19名、ZEROROOM18名になった。

健康面ではRSウイルス、溶連菌感染症、インフルエンザウイルスなどに罹患する園児がいたが園内での流行とまでには至らなかった。

10月より保護者が園内に入ってのお迎えを再開し、園での様子を少しで見えながら担任の保育教諭と直接話ができる機会になっている。また同じく10月より主食も希望者に提供することになり温かいご飯を園児に食べてもらうことになった。その日の給食も展示するようになり帰り際には「今日食べたもの」を園児と保護者で見ながら会話が弾んでいることが多かった。

行事面では、保護者の方と園児とで楽しんで頂きたく“エンジョイ・サマー・フェスティバル”夏祭りを初めて行い、くじ引きや製作コーナー・ヨーヨー釣りなど楽しめる行事となった。しかし、初めての遠足では現地で雨が降り早めに解散となった。食育の一貫としてFIVEROOMは『親子deクッキング』を行い好評だった。節分ではFIVEROOMの子ども達を中心に自分たちで“節分をどうやっていくのか？”考え企画していった。その経緯をドキュメンテーションとし、ホールに写真とコメントを入れて展示し保護者にも活動内容を随時伝えていった。その他、参観日、お遊戯会や卒園式も無事に終えることができた。

園児の発達に関して保護者と面談し子ども達がより良く成長していくことができるよう園での様子、家庭での姿を伝え合っていた。その中で、発達相談事業所による保育所等訪問事業により相談員の方が相談事業所を利用している園児の園での姿を見学に来訪し保護者や保育教諭とも話し合い、支援についての共通理解をしていった。さらに、近隣の小学校教員がFIVEROOMの子ども達の活動を参観し、FIVEROOMの園児も小学校に行くなど、小学校との連携もより深まった。

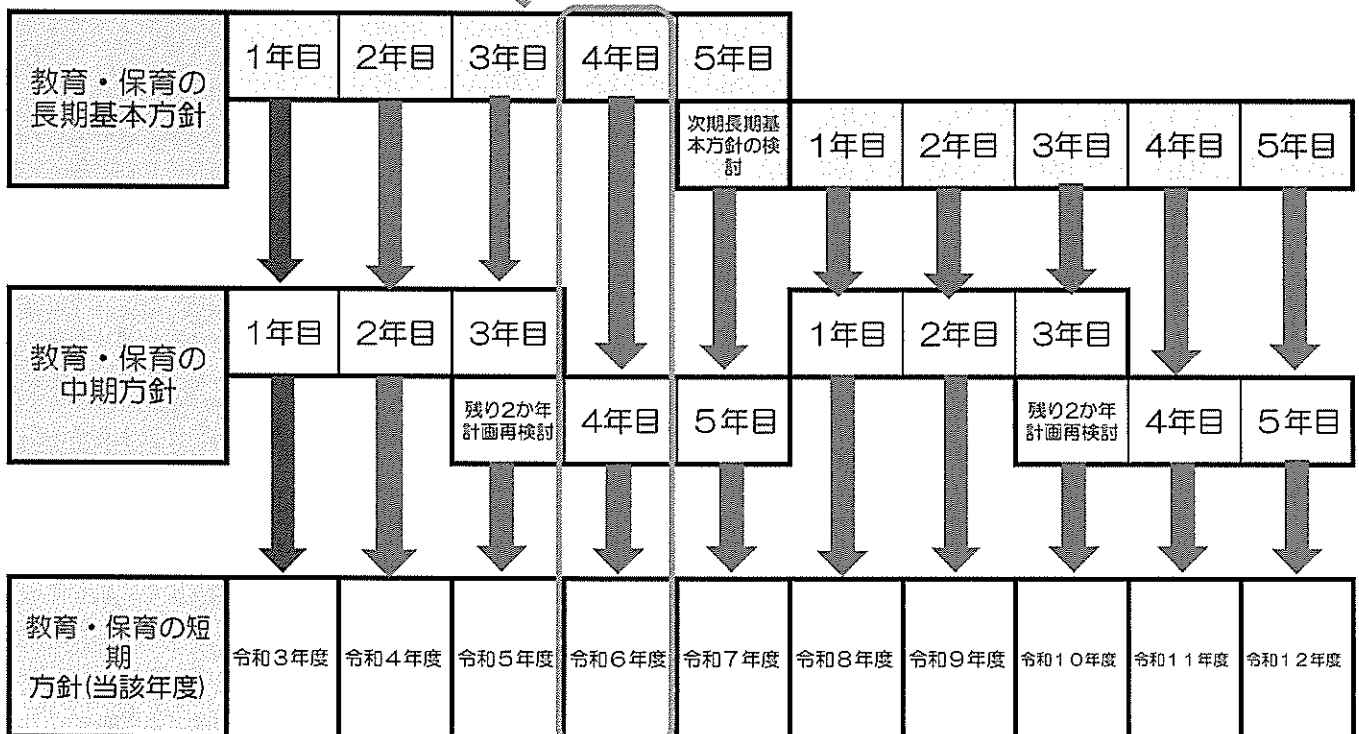
今年度は第三者評価も受け、保育・教育活動がより良く進むために活かしていさせている。

令和7年度は保護者と子ども中心にいろんな事を話し合える関係性をさらに構築し、子どもの事への理解・協力し合えるように進めていきたいと思う。

## 社会福祉法人ゆきわり会「教育及び保育」の運営方針

当法人は、下記のとおり「法人理念」に基づく「教育及び保育の基本理念」を具体的に掲げ、教育及び保育の維持・向上を図るため「長期方針(5カ年)」、「中期方針(3カ年)」を定め、具体的に達成するべく「短期教育及び保育目標(方針)」を認定こども園SHINJOに策定しております。 ※詳細、以下「短期教育及び保育目標」のとおり。

法人理念	命を守る	ハピネス	スマイル
教育・保育の基本理念	1.安全・安心な教育及び保育	2.満足のいく教育及び保育	3.楽しいと思える教育及び保育
	SHINJOを利用する園児及び保護者にとって、SHINJOは生命・身体の安全と権利が擁護され、安心して利用できる教育及び保育の提供に努めます。	SHINJOは保護者とともに、園児の個性や特性に配慮し、人格を尊重しながら満足感を与える教育及び保育の提供に努めます。	SHINJOを利用する園児の生きる力の基礎を育成するための教育の基礎を培うとともに、楽しく笑顔があふれるような教育及び保育の提供に努めます。



# 教育及び保育の「運営方針」

## 教育及び保育の基本理念（標語）

### 1、安全・安心な教育及び保育（園児の命を守る）

- SHINJOを利用する園児及び保護者にとって、SHINJOは生命・身体の安全と権利が擁護され、安心して利用できる教育及び保育の提供に努めます。

### 2、満足のいく教育及び保育（園児にハピネスを）

- SHINJOは保護者とともに、園児の個性や特性に配慮し、人格を尊重しながら満足感を与える教育及び保育の提供に努めます。

### 3、楽しいと思える教育及び保育（スマイル）

- SHINJOを利用する園児の生きる力の基礎を育成するための教育の基礎を培うとともに、楽しく笑顔があふれるような教育及び保育の提供に努めます。

## 教育及び保育の長期基本方針（令和3年度～令和7年度）

### 1、事故ゼロに向けた取組の実施

- SHINJOでの事故防止対策に力を入れ、事故ゼロを自指し園児及び保護者が安心して利用できる園づくりを自指します。

### 2、園児と保護者の満足度の向上を図る

- 園に対する苦情件数ゼロを自指し、満足感あふれる園づくりと喜ばれる教育及び保育の提供に努めます。

### 3、楽しいと思える活動を提供する

- 地域民と同じ文化圏に暮らす中で、園児や保護者が喜びや充実感・達成感を味わい、自ら成長を感じ取れるような教育及び保育を提供していきます。

1、安心・安全な教育及び保育の取組

- ① 事故防止による安全の確保
  - ・ リスクマネジメント意識の高揚
  - ・ ヒヤリハットによる事故の未然防止
  - ・ リスクマネジャーの養成
  - ・ 重大事故防止
- ② 環境及び衛生管理の取組
  - ・ 定期的な安全点検の実施
  - ・ 安全点検チェックリストの活用
  - ・ 職員の衛生知識の向上と対応手順の周知徹底
  - ・ 食中毒予防と食中毒発生時の対応
- ③ 各種法令や規則等の遵守
  - ・ 児童虐待防止法や個人情報保護法などの遵守
  - ・ 自主点検表による運営内容等のチェック
  - ・ 法令等に関する研修参加や勉強会等を実施
- ④ 健康支援
  - ・ 保健計画の作成と実践
  - ・ 感染症の集団発生予防
  - ・ アレルギー疾患への対応
  - ・ 虐待の予防・早期発見等の対策
- ⑤ 災害対策の徹底
  - ・ 施設・設備等の安全確保
  - ・ 災害発生時の対応体制及び避難の備え
  - ・ 地域の関係機関等との連携
- ⑥ 職員の資質・技術の研鑽
  - ・ 各種外部研修への参加
  - ・ 内部研修の実施
  - ・ 自己研鑽の奨励
- ⑦ 健康管理への取り組み
  - ・ 日常養護と健康管理
  - ・ 病気の予防と早期発見
  - ・ 健康指導と保健指導
  - ・ 学校医、学校歯科医、学校薬剤師との連携

## 2、満足（まんぞく）のいく（きょういく）教育・保育（ほいく）の提供（ていきょう）

### ① 保護者（ほごしや）に対する（たいする）子育て（こそだ）支援（しえん）への取組（とりぐみ）

- ・保護者（ほごしや）の自己決定（じこけつてい）の尊重（そんちよう）
- ・保護者（ほごしや）の仕事（しごと）と子育て（こそだ）の両立（りょうりつぱう）等の支援（しえん）
- ・地域（ちいき）子ども（こ）子育て（こそだ）支援事業（しえんじぎょう）（一時預かり（いちじあず）支援事業（しえんじぎょう）、延長（えんちょう）保育事業（ほいくじぎょう）等）
- ・障害（しょうがい）や発達（はつたつじよう）上の課題（かだい）のある園児（えんじ）の保護者（ほごしや）支援（しえん）
- ・保護者（ほごしや）にふてきせつ（ふてきせつ）やようい（ようい）とう（うたが）が疑（ば）われる場合（ばあい）の支援（しえん）

### ② 個性（こせい）・特性（とくせい）の把握（はあく）

- ・全体的（ぜんたいてき）な計画（けいかく）作成（さくせい）に必要な（ひつよう）基礎的（きそてき）事項（じこう）についての理解（りかい）
- ・具体的（ぐたいてき）なねらい（ないよう）と内容（そしき）の組織化（そしきか）
- ・全体的（ぜんたいてき）な計画（けいかく）の作成（さくせい）、結果（けつか）を評価（ひようか）し、次（つぎ）の作成（さくせい）への反映（はんえい）
- ・保護者（ほごしや）や関係者（かんけいしや）等（とう）との連携（れんけい）した食育（しょくいく）の取組（とりぐみ）

### ④ 満足度（まんぞくど）調査（きョウさ）の実施（じっし）

- ・保護者（ほごしや）アンケートによる保護者（ほごしや）の満足度（まんぞくど）の確認（かくん）
- ・食事（しょくじ）の内容（ないよう）や提供（ていきょう）方法（ほうほう）などの満足度（まんぞくど）調査（きョウさ）及び残菜（ざんさい）調査（きョウさ）の実施（じっし）

## 3、活動（かつどう）が楽しい（たの）と思（おも）える教育（きょういく）及び保育（ほいく）の提供（ていきょう）

### ① 乳幼児（にゅうようじ）期（き）にふさわしい（せい）生活（せいかつ）を営（い）むための活動（かつどう）の提供（ていきょう）

- ・園児（えんじ）自ら（みづか）が興味（きょうみ）をもつて主体的（しゆたいてき）に関わ（か）れる様々（さまざま）な活動（かつどう）を展（てん）開（かい）
- ・充実感（じゆじつかん）や満足感（まんぞくかん）を味（あじ）わうこと（こと）ができる活動（かつどう）の計（けい）画（かく）

### ② 教育（きょういく）及び保育（ほいく）における活動（かつどう）に対する保護者（ほごしや）等（とう）の支援（しえん）

- ・保護者（ほごしや）に園（えん）の活動（かつどう）や行事（ぎやうじ）等に積極的（せつぎよくてき）に参加（さんか）と楽（たの）しいと思（おも）える活動（かつどう）の提供（ていきょう）
- ・障害（しょうがい）や発達（はつたつじよう）上の課題（かだい）のある園児（えんじ）の保護者（ほごしや）支援（しえん）

### ③ 地域（ちいき）の催事（さいじ）参加（さんか）や公共（こうきょう）資源（しげん）の利用（りよう）計（けい）画（かく）

- ・地域（ちいき）の催事（さいじ）に参加（さんか）できるよう楽（たの）しみの提供（ていきょう）
- ・近隣（きんりん）の公共（こうきょう）施設（しせつ）の見学（けんがく）などを計（けい）画（かく）し、楽（たの）しめる活動（かつどう）を増（か）やして（して）いく

【認定こども園SHINJO】令和6年度 教育及び保育 短期目標に関わる取り組み

中期方針 (令和3年度～令和7年度)		令和6年度 (具体的な取り組み)			令和7年度 (具体的な取り組み)
1. 安心・安全な教育及び保育の取組		達成	未達成 (継続)	達成・未達成の根拠	
①	事故防止による安全の確保	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	重大事故は無く、ヒヤリハットについての周知もなされてきた。	①ヒヤリハットに対しての認識(子どもの怪我に繋がることだけではなく環境等にも配慮する)。
②	環境整備及び衛生管理の取組	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	安全点検の中で職員の安全に対する意識が高まった。	①毎月の安全点検を徹底 ②感染性の高いものに対する消毒などの徹底
③	各種法令や規則等の遵守	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	『不適切な関り』という内容で園に起こりうる事例と共に研修し職員が意見を述べる馬にもなった。	①児童虐待防止マニュアル及び個人情報規定の周知の徹底と『不適切な関り』に関する研修
④	健康支援	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	感染症流行時はお便りなど配布し伝えていった。保健計画の中に性教育についての絵本の読み聞かせを加えた。	①感染性の病気の流行する兆しがあった場合は職員で周知し保護者にも伝えていき、蔓延防止していく。
⑤	災害対策の徹底	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	具体的には関りはなかったが、近隣小学校や地域の町会長の方と話す機会があった。	①様々な訓練の中での避難経路の周知、徹底 ②地域との連携、接続を図る
⑥	職員の資質・技術の研鑽	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	内外の研修を受け、チャレンジシートや自己評価等で振り返りができた。	①外部研修への積極的な参加 ②乳幼児の救急法の習得
⑦	健康管理への取組	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	RSウイルスやコロナなどに罹患する園児はいたが流行とはならなかった。	①手洗い、うがい、手指の消毒の徹底及び指導の実施 ②流行の予兆があった場合には早めに保護者に伝え、家庭と園とで子どもの病気の早期発見に
2. 満足のいく教育・保育の提供		達成	未達成 (継続)	達成・未達成の根拠	令和7年度 (具体的な取り組み)
①	保護者に対する子育て支援への取組	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	園児の発達支援の為に面談を必要に応じて行うことができた。	①発達支援の為に保護者との面談実施 ②療育施設との情報共有と連携
②	個性・特性の把握	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	年長児は小学校との連携を行い情報共有できた。食育に関しては、栄養士から話を聞くことや保護者と一緒におにぎらずを作ることができた。	①園々の特性を理解し発達を促す指導計画の実施 ②畑での野菜作りや普段の給食を通しての食育の実施
③	満足度調査の実施	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	第三者評価を受け、その中で見えてきたものを保育・教育に取り入れるよう努力した。	①保護者が気軽になんでも話することができるように保育教諭も柔軟に対応する。 ②保育参観を分散型にし園児の普段の様子を公開する
3. こども園での活動が楽しいと思える教育・保育の提供		達成	未達成 (継続)	達成・未達成の根拠	令和6年度 (具体的な取り組み)
①	乳幼児期にふさわしい生活を営むための活動の提供	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子どもの発達に合わせて個別に対応したりまた、集団で育つものを大切にしながら関わっていった。	①友達や保育教諭との関りの中で園児が楽しめる活動の計画、実施
②	教育及び保育における活動に対する保護者等の支援	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	FIVEROOMの園児が行事に主体的に参加し、その様子をドキュメンテーションとしてホールに貼り保護者や子供たちにもわかりやすいようにした。	①子ども達が主体的に動くことを見守っていく。 ②発達に課題のある園児に対しては保護者と面談をし家庭との連携を図っていく。
③	地域の催事参加や公共資源の利用計画	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	水族館や防災センター、劇団を観覧のため出かけ、電車に乗ることもできた。また年長児は近隣の小学校との交流を教員が園にもきた。	①園外保育として公共の施設を利用しながら、楽しめる活動を増やしていく。

# 1 経営する事業

## ・一時預かり事業

継続的短時間就労・職業訓練等で一時的に保育の必要な児童の保育や保護者の疾病・看護・出冠婚葬祭等による緊急時の保育、育児に伴う心理的・肉体的負担を解消する当理由による一時業への取り組みにより地域における児童の福祉の増進を図っている。

### 利用実績延べ人数（一般型）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
令和5年度	4時間未満	4	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	8	年間延べ 利用人数
	4時間以上	0	0	0	0	0	0	4	8	1	0	1	0	14	22
令和6年度	4時間未満	6	0	5	5	2	0	0	0	1	0	0	1	20	年間延べ 利用人数
	4時間以上	2	0	0	0	0	0	0	0	9	5	2	0	18	38

### 利用実績延べ人数（幼稚園型）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
令和5年度	8時間以内	64	71	72	63	45	69	78	69	65	67	78	49	790	年間延べ 利用人数
	8時間超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	792
令和6年度	8時間以内	57	61	71	87	44	66	84	83	74	66	67	78	840	年間延べ 利用人数
	8時間超	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	3	21	861

## ・障がい児保育事業(ふれあい保育事業)

「障害のある子もいない子も当たり前」いまでは障害をひとつの個性としてごく自然な状態でしている。今年度は5歳児に7名、4歳児に2名のふれあい保育対象児童在籍。

## ・延長保育促進事業

就労形態の多様化、通勤時間の増加等による延長保育に対する需要に対応することにより、児童福祉の増進に寄与していきたい。青森市の郊外に位置する当園は、保護者の通勤時間もかかる延長保育を実施することにより児童の情緒の安定をはかることができ、保護者の負担軽減に寄ることができた。

### 延長保育利用実績延べ人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
令和5年度	短時間保育	24	7	14	20	2	14	6	13	19	10	10	12	151	年間延べ 利用人数
	標準型保育	95	102	92	79	83	88	99	104	97	86	105	112	1142	1293
令和6年度	短時間保育	12	40	37	12	8	73	19	26	30	12	16	25	310	年間延べ 利用人数
	標準型保育	85	101	94	108	91	79	96	105	95	88	94	93	1129	1439

施設詳細

開園時間	07:00-19:00 保育標準時間利用者のかたは、18:00以降有料 1号認定利用者の方は、教育時間終了後から18:00は有料 保育短時間利用者の方は16:00から有料
受け入れ年齢	生後43日から
定員	1号認定子ども15名 2号認定子ども45名 3号認定子ども45名

クラス編成  
(令和7年3月1日時点)

クラス名	年齢	児童数 (1号認定子ども)	児童数 (2・3号認定子ども)
ZERO ROOM	0歳児	0名	18名
ONE ROOM	1歳児	0名	19名
TWO ROOM	2歳児	4名	17名
THREE ROOM	3歳児	1名	18名
FOUR ROOM	4歳児	2名	22名
FIVE ROOM	5歳児	4名	17名
計		11名	111名
		合計	122名

利用園児実績延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
令和5年度	2、3号認定子ども	106	107	110	109	110	111	112	113	115	115	114	114	1335
	1号認定子ども	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	8	8	81
	在籍児童数	112	113	116	115	116	117	119	120	122	122	122	122	1416
	利用園児実績延べ人数	2688	2712	3016	2875	3016	2808	2800	2880	3172	3050	2806	3050	34873
令和6年度	2、3号認定子ども	98	99	101	102	103	105	108	110	110	111	111	111	1269
	1号認定子ども	6	8	8	8	9	11	11	11	11	11	11	11	116
	在籍児童数	104	107	109	110	112	116	119	121	121	122	122	122	1385
	利用園児実績延べ人数	2600	2568	2725	2860	2912	2668	2904	2904	2904	2806	2684	3050	33775

年間行事

4月	入園式・始業式・お誕生会・避難訓練 内科検診・内科検診	10月	ハロウィーン・お誕生会・親子遠足 内科検診・歯科検診
5月	お誕生会 参観(FIVE、FOUR、THREE、 TWO ROOM) 避難訓練	11月	お誕生会・防災訓練 おゆうぎかい(FIVE、FOUR、THREEROOM) りんご狩り(FIVE、FOUR、THREEROOM)
6月	お誕生会・防災訓練 プラネタリウム(FIVE、FOURROOM) フラッセ見学(FIVEROOM) 劇団鑑賞(FIVE、FOURROOM)	12月	おゆうぎ会(TWO、ONE、ZEROROOM) クリスマス会(お誕生会)・避難・終業式 水族館見学(FIVE、FOUR、 THREEROOM)
7月	運動会(FIVE、FOUR、THREEROOM) お誕生会・避難訓練・フラッセ見 (FIVEROOM) エンジョイサマーフェスティバル	1月	始業式・お誕生会・避難訓練
8月	お誕生会・避難訓練 終業式・始業式	2月	豆まき・お誕生会・避難訓練 おひな様撮影会
9月	お誕生会・避難訓練 運動会(TWO、ONE、ZEROROOM) 防災訓練センター体験 (FIVE、 FOURROOM)	3月	ひな祭り(お誕生会)・避難訓練 おやこ de クッキング(FIVEROOM) 卒園式・進級

※毎月実施：身体測定・えいごのじかん(月3回)・まなびタイム(FIVEROOMのみ年間24回)

健康管理

園児一人ひとりの発育発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長がとげられるよう次の点に取り組む。

- ・日常養護と健康管理
- ・安全と事故防止
- ・病気の予防と早期発見
- ・健康指導と保健指導
- ・環境衛生

学校医 館山 尚 (象こどもクリニック)  
 学校歯科医 折笠 和俊 (おりかさクリニック)  
 学校薬剤師 尾崎 智子 (株式会社青森調剤センター)

- ◎ 健康診断 年2回実施
- ◎ 歯科健診 年2回実施
- ◎ 身体測定 毎月実施
- ◎ 手洗い うがい指導 日常実施

衛生管理

感性症対応マニュアルに基づいた対応とマニュアルの見直しを定期的に行う。

栄養管理（PCソフトによる栄養管理）

◇ 年齢別構成表及び給与栄養目標量（1人当たり）

区分	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA (μgRE)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)
1～2歳児	450	11.3～22.5	10.0～15.0	200	2.3	200	0.25	0.30	20
3～5歳児	400	11.9～26.5	12.7～19.2	267	2.4	203	0.29	0.35	20

栄養士による給食献立表を基に給食を提供。離乳食は個人に添った進み方をしいく。また、アレルギー児の除去食もそれぞれに対応をし、保護者・保育教諭・栄養士と話し合いながら進めていき除去食も少なくなっている。

◇食育の推進

玄関先に本日のメニューを大きく掲示することで給食への期待感を持ち、親子の会話にもつながる。また、今年は畑も出来大根・サツマイモ・かぼちゃとの苗を植え、収穫することができた。家に持ち帰り家庭でどうやって食べたのかを話す機会もつくって行った。また、普段のから作ってくれる人への感謝や大事に食べるという事が学べるよう配慮していった。

職員の処遇（令和6年3月1日）

園長1名、副園長1名、主幹教諭2名、保育教諭18名、パート保育教諭6名、准看護師1名、栄養士1名、調理員3名、用務員2名、運転手（兼務）

職名	氏名	職務内容
園長	土岐 美穂	園の業務を統括する
副園長	山本千恵子	園長業務補佐・園全体の環境整備や運営管理業務を統括する
主幹保育教諭	竹内真弓美	保護者・地域社会との連絡調整・職員の助言・指導補佐行事に関する計画の作成実地
主幹保育教諭	竹内玲子	保護者・地域社会との連絡調整・職員の助言・指導補佐行事に関する計画の作成実地
5歳児	幼児クラス 保健衛生・安全対策 リーダー	園内外の感染症対策・災害時対応研修担当 避難訓練立案実施 教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 一時預かり保育担当
	保育教諭	野呂麗奈 教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
	保育教諭	沼倉江利子 教育・保育業務の補佐
4歳児	保護者支援リーダー	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
	保育教諭	對馬美咲 教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
	保育教諭	阿部京子 教育・保育業務の補佐

3 歳児	保護者支援リーダー	森寿子	幼児クラスに従事し教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行い保護者支援に関する事項の研修担当。 一時預かり延長保育担当
	障がい児教育・保育 リーダー	山本穂波	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う。障がい児にかかわる研修担当 一時預かり延長保育・園バス担当
	保育教諭	石川清香	教育・保育業務の補佐
2 歳児	保護者支援リーダー	片山貴美子	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
	障がい児教育・保育 リーダー	赤石まゆみ	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う。障がい児にかかわる研修担当 一時預かり延長保育担当
	保健衛生・安全対策 リーダー	須藤杏奈	園内外の感染症対策・災害時対応研修担当 避難訓練立案実施 教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 一時預かり保育担当
	保育教諭	野呂沙恵子	教育・保育業務の補佐
1 歳児	障がい児教育・保育 リーダー	木立静夏	0歳児クラスに従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務、離乳食に関する事項、障がい児にかかわる研修担当 延長保育担当・一時預かり担当
	食育アレルギーリー ダー	高谷晶子	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 園児の食育に係る計画やアレルギーに関する事項の担当一時預かり・延長保 育担当
	保育教諭	坂本希美	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を 行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
	保育教諭	工藤仁依那	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を 行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
0 歳児	乳児保育 保護者支援リーダー	長谷川はるか	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を 行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
	食育アレルギーリー ダー	柳谷樹里	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を 行う 園児の食育に係る計画やアレルギーに関する事項の担当一時預かり・延長保 育担当
	保健衛生・安全対策 リーダー	鹿内琴美 (11月より産休)	園内外の感染症対策・災害時対応研修担当 避難訓練立案実施 教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を 行う 一時預かり保育担当
	音楽リズムリーダー	尾野綾子	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を 行う さくらさくらんぼのリズム運動の計画、一時預かり・送迎バス保育担当
	保育教諭	尾崎千春 (5月より入職)	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を 行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
	看護職員	鈴木久美子	園児の健康管理・ケガ病気への予防の対策・対応
FREEE	保育教諭	溝江八重子	教育・保育業務の補佐 園バス担当
給 食	栄養士	榊碧衣	給食業務の総括管理・献立表の作成及調理の実施水具食器の保管・管理
	食育アレルギーリー ダー 調理員	木村由布子	調理実地の補充緒・給食業務補助・水具食器の保管・管理・調理室清掃整備
	調理員	三浦 富子	調理実地の補充緒・給食業務補助・水具食器の保管・管理・調理室清掃整備
	調理員	工藤奈穂子	調理実地の補充緒・給食業務補助・水具食器の保管・管理・調理室清掃整備

用 務 員	福井 律子	園内外の清掃担当
用 務 員	竹達美裕輝	
運転手	比内清勝	通園バスの送迎担当
運転手	成田正志	
運転手	荒木関友彦	

健康管理

健康診断 年1回実施（指定健康診断医 工藤内科クリニック）\*40歳以上付加項目検査

各種会議等

職員会議	月1回実施
給食会議	月1回実施
クラスミーティング	月1回実施

研修計画

職員全体の質の向上をめざし、専門性の知識を高めるため研修に参加し、自己研鑽に務めていく。

①職場研修

キャリアパス研修や園外研修で得た知識を職員がリーダーとなり伝え、また、多くの研修が

ネットでの開催などであり参加した。

②自己評価を行い、日々の保育実践や業務を真摯に振り返り、評価や改善向上のための行動指針としていった。

災害対策

日本防災による火災報知器等の保守点検（年2回）と有事（自然災害等）の備蓄用品（発電機、災害用非常灯（スミスライト）、テント、飲料水、食品等）の点検整備を行った。

◇避難訓練年間実施

月	想 定	内 容
4月	不審者	園周辺から不審者が侵入
5月	火 災	園舎前の一般家屋からの火災発生による避難
6月	火災（総合）	園舎前の一般家屋からの火災発生による避難
	園バスクラクション訓練	園駐車場にて園バスのクラクションを園児が鳴らす
7月	洪水	屋内で待機
8月	地震	屋内で待機
9月	Eメールでの連絡練習	保護者・職員にEメールでの連絡
	火災	園庭側の一般家屋（小屋）からの火災発生による避難
10月	火 災	園内での火災園外避難
11月	火災（総合）	給食室からの火災発生による屋外避難
12月	不審者	園庭から不審者が侵入
1月	地 震	地震発生による避難
2月	火 災	園舎前の一般家屋からの火災発生による避難
3月	地 震	地震発生による避難

## 地域社会との連携推進

(1) 地域社会へ園（社会資源）としての機能を開放・還元ということで「こどもえんであそぼう」を未就学児や保育園などに入園をしていない方を対象に今回2回行うことが出来た。

(2) 中高生の職場体験活動（ボランティア）の要請がありむつ市の中学生が1名3日間体験を行い、養成校の保育実習の学生は1名受け入れていった。保育教諭になりたいという意欲を十分発揮できるよう、学生に関わり指導して行った。

(3) 近隣小学校との連携し小学校との園とのカリキュラム“架け橋プログラム” 教員との連絡会議“オアシス会議” 小学校との交流会をおこなった。また、新城小学校2年生の「町探検」で小学生7名とその保護者1名を受け入れた。

## 受け入れ実績

10/16～10/19	むつ市立田名部中学校（1名）	職場体験
11/5～12/2	仙台こども専門学校（1名）	保育実習

## 新城中央小学校との連携

8月20日	ブリッジ会議
10月24日	学習発表会予行
11月6日	秋遊びの会
1月31日	学校に行こう！ようこそ新城中央小学校へ

## 新城小学校との連携

7月8日	オアシス会議
8月1日	小学校教員FIVEROOM参観
9月10日	町探検（2学年）
9月27日	学校探検・秋遊び
10月24日	学習発表会予行
12月16日	オアシス会議
3月11日	オアシス会議

## こども園であそぼう開催E

5月24日	9月28日
-------	-------

(4) 西部市民センター“親子であそぼう！みんなおいで”に保育教諭2名が参加し、地域の親子に向けてふれあい遊び、体操、絵本の読み聞かせなどをしながら活動に参加した。参加者は1～3家族と少なく、まったくいない日もあったが、地域の方々にこども園で行っている遊びを披露出来た。

4月24日、5月22日、6月19日、7月10日、8月28日、9月18日、10月16日、  
12月18日、1月22日、2月19日、3月12日

内部研修

開催月	内 容	講 師	開始場所
4月	新任研修	園長・副園長・主幹保育教諭	STUDYROOM他
5月	新任研修	園長・副園長・主幹保育教諭	STUDYROOM他
	防災カンファレンス	脇貴志・藤寛智子	オンライン
6月	アレルギー(米粉パンを食べてアナフィラキシーショックを起こした記事を読んで)	記事を読み各ROOMで話し合う	各ROOM
	不適切な関わり(園児を切りつけた保育士の記事を読んで)	記事を読み各ROOMで話し合う	各ROOM
	不適切な保育に陥らないための言葉かけ	佐々木郁子	オンライン
9月	保育所でおやつで後遺症・ホットドックをのどに詰まらせる(記事を読んで)	記事を読み各ROOMで話し合う	各ROOM
12月	気道異物除去	鈴木看護師・東京消防庁(動画)	PLAYROOM他
	不適切な関わりを考える	汐見稔幸	オンライン
1月	保健衛生・安全対策	赤石まゆみ・長谷川はるか	STUDYROOM他
2月	障害児保育	片山貴美子・森寿子	STUDYROOM他
3月	不適切な保育防止から保育の質の向上へ	園長(不適切な保育を防ぐより抜粋)	事務室他
	福祉サービスと個人情報保護	沼田弁護士(動画)	PLAYROOM他

外部研修

開催月	内 容	講 師	開始場所
8月	保育士等キャリアアップ対象研修会 「乳児保育分野研修会」	鶴見大学短期大学保育科教授 天野 珠路氏 他	ホテル青森「孔雀の間」
10月	給食・食育研修会	国立大学法人上越教育大学大学院 教授野口 孝則氏	ホテル青森「孔雀の間」
	保育士等キャリアアップ対象研修会 「障害児保育研修会」	青森県立中央病院副部長 大滝 潮氏 他	オンライン受講
11月	保育士キャリアアップ対象研修会 「マネジメント分野研修会」	青森中央短期大学幼児教育学科准 教授松浦 淳氏 他	オンライン受講
	保育士等キャリアアップ対象研修会 「保健衛生・安全対策分野研修会」	社会福祉法人純心会 まるくこども園理事長 進藤 昭仁氏 他	オンライン受講
12月	保育士等キャリアアップ対象研修会 「障害児保育研修会」	青森県立中央病院副部長 大滝 潮氏 他	オンライン受講
	保育士等キャリアアップ対象研修会 「保健衛生・安全対策分野研修会」	社会福祉法人純心会 まるくこども園理事長 進藤 昭仁氏 他	オンライン受講
1月	保育士キャリアアップ対象研修会 「マネジメント分野研修会」	青森中央短期大学幼児教育学科准 教授松浦 淳氏 他	オンライン受講
	保育士キャリアアップ対象研修会 「保育実践分野研修会」	青森県保育連合会保育部会会長 黒沢望氏 他	県民福祉プラザ
2月	保育士キャリアアップ対象研修会 「保育実践分野研修会」	青森県保育連合会保育部会会長 黒沢望氏 他	県民福祉プラザ

# リスク管理状況

## 1. 予防対策状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ヒヤリハット提出件数	2	4	6	0	2	1	2	1	1	3	3	1	26
改善実施件数	2	4	6	0	2	1	2	1	1	3	3	1	26
改善検討中件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 2. 感染症発生状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新型コロナウイルス	1	0	0	0	2	1	0	0	0	4	0	0	8
RSウイルス	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	4
感染性胃腸炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水痘	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
溶連菌感染症	1	3	0	1	0	0	2	1	0	3	0	0	11
インフルエンザウイルス	3	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	9

## 3. 苦情・要望・相談の受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受付件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
園児関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
環境関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
制度・事務関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
解決件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
未解決事項	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



## 令和6年度アンケート集計結果

1. 認定こども園を利用し、満足していますか？  
①満足：82% ②やや満足：9% ③普通：9%  
④やや不満：0% ⑤不満：0%
2. 利用する上で何か困っている事はありますか？  
①あり：6% ②なし：94%
3. 職員の対応はいかがですか？  
①満足：72% ②やや満足：19% ③普通：9%  
④やや不満：0% ⑤不満：0%
4. 現在、STUDYROOMなど課外授業(英語教室、スポーツ教室、ピアノ教室、スイミングスクール)を行っておりますが、今後、課外授業としてお子さんに経験させたい(学ばせたい)ものはありますか？  
ダンス(小さいころから書いていますが)、習字、プログラム教室、高度な運動教室
5. 何かありましたら、ご自由にお書きください。
  - ・先生や周りのお友達みんなによくして頂いています。ありがとうございました。
  - ・先生方の対応も園の方針もとても満足しています。
  - ・いつも安全に子どもを見て下さりありがとうございます。
  - ・お遊戯会などのDVD欲しいです！席順も抽選はわかるんですけど、実際全然子どもが当たらない場所だったりするので。
  - ・母妊娠、つわりや入院で環境の変化、寂しい思いさせたと思うがその都度先生方が本人に寄り添い対応した時にもすぐに気づいて教えてくれるのも嬉しいです。子どもが園に行くのを楽しみにしてくれ本当にありがたかったです。また変わった様子(成長した点や行動面)があっしている様子を見ると先生方のおかげだと常々感謝しております。
  - ・帰りの際、時々職員の方が玄関にいない、何も言わずにそのまま帰って良いのかどうか迷う時があります。迎えに行く際、駐車場が埋まっているのにも関わらず外で立ち話している親御さんがいるのでなかなか駐車場に停められず待ち時間が長い時がある。参観日に給食の時間も取り入れくれたら嬉しいです。
  - ・いつも楽しそうに帰ってくることに親としても安心しております。今まで一度もこども園に行きたくないということがなく、園での先生方がきちんと向き合って接してくれているんだろうなぁと感じております。
  - ・まだ2歳だからと親がのんびり構えていたら先生方がトイレトレーニングをして下さってありがたいです。
  - ・日々、ささいなことでも報告してくれ、とてもありがたく思っています。子供の気持ちを察していつも味方でいてくれる先生方には感謝しかありません。信頼して子どもを預けることができます。
  - ・汚れて持ち帰った衣服の汚れをビニールにマジックで書くので良いので教えて欲しいです。
  - ・①箸の持参について：家庭で持てるようになってから持たせてくださいとのこと。もちろん家庭でも練習しますが、教え方・指導に関しては先生の方が父母よりも安心して任せられるため、食事のとき以外に、FIVEROOMのようなまなびタイムなどと称して持ち方の指導をしていただけたらありがたいなと思います。②園での発熱について：発熱に気付かれなかったことが2回ありました。降園の際、明らかに手が熱く、本人もおでこ熱いと訴えがあり、帰宅後計測すると発熱していた。年齢が上がると体に触れる機会は少なくなるかと思いますが、お昼寝からの起床時などでも一度も手や体に触れる機会はなかったのでしょうか？今は園での検温は一切していないのでしょうか？
  - ・いつも笑顔で対応してくださるので、感心しております。これからも子どもファーストをお願いします。スリールーム後半からでも歯ブラシはできそうではないでしょうか？
  - ・いつもお遊戯先生方が考えて教えて下さり、衣装もかわいいのを準備して下さり、感謝しています。曲の方なんですけど、最近の流行りの曲(かわいいだけじゃだめですか)とかやって欲しいです。
  - ・全ルーム交流の時間などがあると子どもの年齢の垣根を越えて色々な学びができるなぁと息子はお兄ちゃんお姉ちゃんと交流すると成長していることが多いですし楽しそうなので♪
  - ・遠足はあいにくの天気でしたが雨天の場合の代わりの場所などの対策があっても良かったのかなと思いました。難しいと思いますが……
  - ・ホームページ上の日記を、大きな行事だけではなくもう少しあげて下さると嬉しいなと思います。もちろん先生方もお忙しいでしょうし、子ども達の安全が最優先ではあるので、業務に支障がない程度で大丈夫ですし、無理なら無理で仕方ないのですが…。
  - ・お迎えの際、お部屋まで迎えに行けるようになり子どもたちの様子が分かるようになり、ありがたいです。
  - ・他の子より手がかかり、先生方にはいつも感謝の言葉しかありません。ただ一部の先生の言葉遣いが気になる時があり…もうすぐ卒園式、ご迷惑をお掛けするかもしれませんが、よろしく願いいたします。
  - ・体操教室についてですが、現状の運営方法だと安全面が気になります。活動に乗れている子はいいにですがそうでない子達は「参加しないなら座ってて」と声を掛けられたまま……このままだとケガ等がおきても仕方がないと思います。活動に乗れないなら退会してもらって、教室に返す、見守りの人をつける等何かしらの対応が必要だと感じました。
  - ・卒園前に親子クッキングなど色々イベントを考えて下さり、ありがとうございました！本当に6年間楽しかったです。

- いつも先生たちが笑顔で応援して下さるので安心して、預かって頂いています。園長先生も親近感があり、相談しやすい環境でした。感謝いっぱいです。ありがとうございました。
- 長い間お世話になりました。親子共々、先生方の温かい対応に救われることが多く、沢山の力を頂きました。毎日娘から園での出来事を聞くのが楽しみでした。毎日たくさんの経験をさせて頂き、ありがとうございました。
- 最後のこども園生活でしたが、0ルームの時から親子共々、先生達に大変お世話になりました。こども園の生活で子供も親も成長できたかなと感じています。本当にありがとうございます。

(上記内容は類似したもののなかから代表的なものを記載しました)

【アンケートについての今後の改善等について】

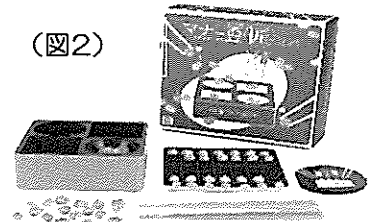
- おゆうぎ会等の動画は基本、園としての記録として撮っているものですが、上手く撮れていないこともあります。おゆうぎ会本番では保護者の皆様も動画等撮っている方もいらっしゃいますのでこちらからはお声を掛けていませんが、お話して頂ければお貸しします。また、おゆうぎ会の席については、次年度もお子様のお遊戯の際は特別席（ステージ前床座）を行っていきます。
- お帰りの際、玄関に職員がいないことがあり申し訳ありません。各ROOMの前で帰りの挨拶は済んでいると思いますので、その際はお帰りになって大丈夫です。駐車場の件ですがご迷惑をお掛けしております。混み合っている時の保護者の方同士のお話の際はこちらでも声を掛けさせていただいておりますが、引き続き声を掛けさせて頂きます。参観日の給食の時間の見学ですが小さいお子さんのROOMでは都合のつく方は見て帰って頂きましたので、前日までにお声を掛けていただければ食事の様子も見ていただけますので是非どうぞ。

(図1)

- 汚れ物についてですが、感染症につながる恐れのあるものは(図1)にある紙を汚れ物に貼っておりますのでご確認ください。
- ①箸の持参についてですが、園にお箸の持ち方を遊びながら学ぶ玩具(図2)があります。こちらを用いながら普段の自由遊びの時間に使用し、箸の持ち方を伝えその様子を見ながらお箸の持参やご家庭での使用もお願いしていました。ただ、全員で練習することはなく今後、安全に留意し行うことも検討していきます。

さま  
【嘔吐物・便・血液・尿】で  
汚れてしまったため洗わずに  
ビニール袋に入れてお返します。  
ご家庭にて対応をお願いします。

- ②園での発熱についてですが、気が付かず申し訳ありませんでした。ZERO~TWOROOMは時間を決めて検温しています。また、全園児いつもと違う様子がみられた場合は検温し30分~1時間ごとに経過をみて連絡させていただいております。THREEROOM以上では時間で検温せず経過しています。先に記しましたように、いつもと違う様子の際と、子ども達の方から体調不良であることを伝えてきた時には首元や手など触診し検温して様子を見ています。これからもそのようにしていきたいと思っておりますので、ご家庭で体調の変化が気になる場合はキッズビューや口頭でお知らせいただくと助かります。



※お子さんの様子を聞きたい等の要望があれば、担任との面談も出来ますので、ご相談ください。

その他の内容につきましては、職員内で話し合いながら検討していきたいと思っております。何かお聞きになりたいことやご心配事などありましたら、お気軽にお話しください。

また、たくさんの労いの言葉や感謝の言葉もいただき、職員一同大変ありがたく思うと同時に、これからもお子さんが安心・安全に、こども園SHINJOで過ごしていくことが出来るよう努力して参ります。

ご協力ありがとうございました。  
認定こども園SHINJO 園長 土岐美穂

令和6年度保育教諭の自己点検評価

達成度基準

A:十分できている(90%以上) B:ほぼできている(70~89%) C:あまりできていない(50~69%) D:ほとんどできていない(49%以下)

A-1 保育所保育の基本:35項目 A-2 子どもの生活と発達:24項目 A-3 保護者に対する支援:5項目

A-4 社会資源としての支援と連携:4項目 A-5 日常業務と資質向上:11項目

A-1 保育所保育の基本 — 保育の方法・内容 —

1	子ども一人ひとりの発達や生活環境を理解して丁寧に良く対応している。	A	2	B	20	C	1	D	
2	心身の状態を把握し、子どもの気持ちや感情に配慮し良く対応している。	A	3	B	18	C	2	D	
3	「早くしなさい」、「だめ」等、せかす言葉、制止する言葉を不必要に用いていない。	A	3	B	12	C	8	D	
4	午睡時は、一人ひとりが安心して静養できる環境作りを心がけている。	A	1	B	20	C		D	
5	排泄に際して、子どもが自ら進んで行けるような配慮や工夫をしている。	A	2	B	14	C	6	D	
6	衣服の着脱に際して、子どもの意欲を大切に、着脱しやすいよう配慮している。	A	2	B	20	C		D	
7	活動に際して、子どもが健康・安全に過ごせるような内容・環境を工夫・配慮している。	A	2	B	19	C	1	D	
8	食事等は子ども一人ひとりの育ちに応じて、基本的な生活習慣の定着を図っている。	A	3	B	18	C	2	D	
9	子ども同士、相手の気持ちがわかるような声かけや援助を行っている。	A	2	B	18	C	3	D	
10	集団の中で遊びを中心として、ルール(きまり)の大切さを伝える工夫をしている。	A	3	B	18	C	1	D	
11	色々な人との交流や地域の人の関わりに、親しみや感謝の気持ちを持つよう機会・配慮をしている。	A	1	B	7	C	15	D	
12	身近な自然に興味・関心が持てるよう工夫し、豊かな感情の育成や探究心に対応している。	A	2	B	18	C	6	D	
13	地域との人達とあいさつをしたり触れ合う機会、散歩等を積極的に取り入れている。	A	1	B	10	C		12	D
14	集団の中での過ごし方や役割について気づけるような工夫・配慮をしている。	A	2	B	18	C		3	D
15	読み聞かせの時間を大切に、紙芝居なども積極的に取り入れている。	A	4	B	17	C		1	D
16	子どもが話しやすい雰囲気作りを心がけ、遊びや活動の中でも触れている。	A	15	B	19	C		1	D
17	子どもの言葉にしっかり耳を傾け、保育室にも写真や絵等と自然な形で文字を取り入れている。	A	4	B	13	C		5	D
18	生活に必要な簡単な文字・記号等に、興味や関心を持てるよう配慮している。	A	3	B	13	C		6	D
19	言葉、絵、造形、音など、子どもが最も得意な方法で、見たもの感じたものを表現することを大切にしている。	A	2	B	17	C		3	D
20	自由に表現できる環境作りを心がけ、様々な素材を提供し楽しめるよう工夫している。	A	3	B	12	C		8	D
21	道具の正しい使い方を、一人ひとり丁寧に教えたり、見守ったりしている。	A	2	B	20	C		1	D
22	授乳は、子どもが要求する時に抱いて目をあわせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている。	A	3	B	3	C			D
23	離乳食については、家庭と連携を取りながら一人ひとりに丁寧にやっている。	A	3	B	4	C			D
24	おむつ交換をする際は、乳児の気持ちを考慮しスキンシップをとりながら行っている。	A	3	B	5	C			D
25	乳児を寝かせる場合には仰向けにし、呼吸や健康状態を定時に確認し、記録をしている。	A	2	B	6	C			D
26	乳児の発達段階を理解し、個々の成長や場面場面での適切な対応に努めている。	A	2	B	5	C		1	D
27	一人ひとりを細かに把握し、家庭と連携しながら丁寧に対応している。	A	2	B	5	C			D
28	長時間(延長)保育のために、家庭的な雰囲気やくつろげる環境作りを配慮している。	A	5	B	9	C			D
29	子どものその日の様子を職員間で伝達し、連絡帳等の内容を検討しながら確実に保護者に伝えている。	A	2	B	11	C		1	D
30	ビデオ視聴に頼らず、子どもの不安な心に寄り添い安心して待てるよう配慮している。	A	7	B	7	C			D
31	障害児保育、特別支援教育などに関する研修(勉強)や資料収集等、積極的に取り組んでいる。	A	2	B	9	C		6	D
32	障害のある子どもの保育について、園全体での話し合いの場で、積極的に意見を述べている。	A	3	B	9	C		7	D
33	障害のある子どもに関する情報を適切に他の保護者にも伝える工夫や配慮をしている。	A	2	B	9	C		6	D
34	子どもの人権への配慮や、互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っている。	A	2	B	15	C		5	D
35	性差への先入観による、遊びや職業に固定的な対応をしないよう配慮している。	A	3	B	17	C		2	D
36	指導計画の作成は、園の理念や方針・保育課程等を基にし、柔軟に対応出来るようにしている。	A	2	B	13	C		2	D
37	個別の対応や養護的側面(基礎的事項)と教育的側面の両面について考慮している。	A	2	B	12	C		3	D

38指導計画を子どもの発達の様、興味・関心に基づいて見直し、次の計画作成に生かしている。			
A	2 B	13 C	2 D
39子どもの活動の展開に合わせ援助の仕方を具体的にし、反省・評価を次の指導計画に反映させている。			
A	2 B	12 C	3 D
40指導計画のねらいや内容を保護者にもわかるように説明する取組や配慮をしている。			
A	B	10 C	7 D
41現在、担当している子どもの個人記録を詳細かつ丁寧に作成し、毎日(定期的に)記入している。			
A	2 B	9 C	3 D
42子どもの個人記録に基づく情報を、その子どもに関わる他の職員や全体に周知している。			
A	3 B	11 C	3 D
43ケース会議や職員会議などで、積極的に発言をし子どもに関する情報を全体に周知している。			
A	2 B	9 C	6 D
44子どもに関する記録(電子データ含)は、適切な場所に保管し、保存不要な書類は適正に廃棄している。			
A	3 B	8 C	4 D
健康安全管理・食事			
45登園時や保育中の子どもの体調の変化に気づき、すぐに対応できるよう努めている。			
A	2 B	19 C	2 D
46トイレに行くことをせかしたり、強制したりせず、一人ひとりのリズムに合わせるようにしている。			
A	3 B	19 C	1 D
47身体測定や健康診断の結果を保護者・職員間で共有し、日常の保育に生かすよう努めている。			
A	3 B	20 C	1 D
48感染症が発症した際、マニュアルに基づいて対応し、個別に状況確認など連絡を密にしている。			
A	4 B	17 C	1 D
49子どもの軽微なケガや疾病等についても、その後の経過等保護者と丁寧に連絡を取っている。			
A	3 B	17 C	1 D
50屋外の遊具を使用する時は、事前に安全点検簿のチェックや自ら点検や汚れに気を配っている。			
A	5 B	13 C	3 D
51子どものその日の喫食状況(哺乳量)を保護者に伝え、家庭との連携を図るよう努めている。			
A	3 B	16 C	2 D
52食事に関し一人ひとりの子どもの状態(個人差や食欲)に応じた対応をしている。			
A	4 B	18 C	D
53食事に興味を持てるよう配慮したり、落ち着いて食事を楽しめるよう工夫している。			
A	4 B	18 C	1 D
54食物アレルギー等の子どもに対して、専門医の指示のもと適切な対応をしている。			
A	8 B	14 C	1 D
55子どもが心地よく過ごすことができるよう、採光や換気、温度や湿度に配慮している。			
A	4 B	17 C	2 D
56手洗い場(水飲み場)での事故や怪我がないよう配慮し、常に清潔にしている。			
A	6 B	17 C	D
57保育室の環境の色彩や音、遊具の素材・配置等を工夫し、安心して豊かな活動ができるように配慮している。			
A	5 B	14 C	4 D
58子どもが安心した環境の中で、満足して自由に遊べるような取り組みや工夫をしている。			
A	3 B	17 C	3 D
59様々な遊具や用具を使った運動や戸外遊びを積極的に取り入れ、工夫をしている。			
A	2 B	15 C	6 D
60保護者との関わりを積極的に持つよう意識し、子どもの情報や養育方針等を得ている。			
A	3 B	16 C	3 D
61子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接し、送迎の際にも言葉を交わしている。			
A	4 B	16 C	3 D
62日常の保護者との会話では必要に応じて、また保護者との面談では、必ず記録等をとっている。			
A	3 B	14 C	3 D
63一時保育の際、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、丁寧に対応している。(担当以外は園の現状を評価)			
A	3 B	19 C	D
64一時保育は、通常保育や入所児童との関連を配慮しながら行っている。(担当以外は園の現状を評価)			
A	3 B	18 C	D
65園がその役割を果たすために必要な、地域の関係機関の所在や内容について理解している。			
A	2 B	14 C	7 D
66園の周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常的に雰囲気作りを良く心がけている。			
A	2 B	17 C	4 D
67中高生等の保育体験やボランティアを受け入れる際には、その意義や方針を理解・確認している。			
A	2 B	16 C	5 D
68実習生を受け入れるときには、意義や方針を理解し、指導的立場にあることを意識している。			
A	2 B	17 C	3 D
69法人の理念や園の保育方針を理解し、日々の保育活動や業務に生かしている。			
A	5 B	18 C	D
70保護者等に、園の保育理念や保育方針を理解してもらうよう努め、良好な連携をしている。			
A	2 B	16 C	4 D
71管理者層(園長、主任等)や同僚との間で良好な関係を築き、何事にも責任を持って取り組んでいる。			
A	2 B	20 C	1 D
72会議等で管理者層に対しても、積極的に質問や課題提起をし、正論を協議している。			
A	1 B	12 C	7 D
73上司・先輩の指導を受け入れ業務に生かしている。又、後輩に対しても適切なアドバイス(OJT等)を行っている。			
A	1 B	20 C	2 D
74個人情報(生活状況)やプライバシー保護の観点から、日頃、守秘義務を徹底している。			
A	9 B	13 C	1 D
75自らの保育実践を振り返り、改善や評価をし、専門性の資質向上に良く努めている。			
A	2 B	17 C	4 D

76自ら、日常の保育技能(ピアノ、造形・絵画、読み聞かせ等)に関して、向上するように良く努めている。				
A	3 B	13 C	7 D	
77保育雑誌の個人購入や新聞、ネット、TV等で最新の様々なニュースや情報を取得しようと努めている。				
A	3 B	14 C	5 D	1
78職場内において保護者等には正対し、目を合わせての挨拶や正しい言葉遣い(丁寧・敬語等)で、接している。				
A	3 B	18 C	2 D	
79国家資格(保育士)を持つ職業人(プロ)として、職場内外での言動への配慮や自己研鑽に努めている。				
A	2 B	16 C	5 D	

◇ 令和6年度 本人総合評価(保育教諭) ◇ (内容は句読点含め、原文まま)

子ども目線に立つての保育を心掛け、じっくり耳を傾け話を聞き気持ちの転換がスムーズに出来た時は、褒め言葉を添え自信を持たせられるような関わりが出来たと思います。一号認定を担当しましたが、子ども達同士仲良く互いに声掛け合いながら楽しく遊ぶ姿を見て、仲立ちよりも見守る事の大切さを子ども達から学びました。

今年度はFOURROOMの担任をさせていただいた1年。子供たちがTWOROOMのときにも担任をさせていただいたので、進級日にとっても温かく迎えてくれて嬉しかった。前年度はZEROROOM担任だったので、どのように子どもたちと関わっていくか、試行錯誤する日々だった。過ごしていく中で疑問に思った事や相談をクラスの先輩方にさせていただき、子どもたちとのかわり方や行事への考え方、リズム遊びのレパートリー、製作は、子どもたちの成長をしっかりと観察し、理解したうえで考えていることなど、本当に勉強になった。FOURROOM後半では子どもたちの急成長した姿に幾度となく驚かされ、出来ることが増え子どもたちの自信に満ちた表情を見ることができ、担任として一緒に成長していけたことを嬉しく思う。子ども主体的な保育を大切にできたが私自身戸惑いもあり、時には必要以上に指示を出してしまうこともあったのではないかと反省点が多々あるが、先輩方の真似をし、主体的な保育や自分自身の保育を見つめ直し、学んだ一年間となった。今後も反省点を活かせるよう、日々保育について学ぶ姿勢を忘れずにしていきたい。

余裕がなくなると全てがダメになってしまうので、見通しを持って行動したり、優先順位をしっかりと考え、取り組んでいきたい。提出物や作る物など時間を見ながらできる時にやり、あせることのないようにしていきたい。また子ども達にどうしたらどう話したら伝わるのか考えながら進めていきたい。話し方、伝え方を変えていく。今年度もまた去年と違うクラスだったので子ども達や保護者と信頼関係を築けるよう努めた。主体性のある声掛けを意識しながら進めていきたい。

0歳児クラス担当で戸外遊びや散歩は少なかったが、運動遊びとして歩けるようになった子どもたちと一緒にハイハイ競争やかけこ・ジャンプなどして体を動かして遊んだ。新年度は5歳児クラスで戸外遊びや散歩をして、体力作りに繋げたい。

保育時間が長い子どもたちが多いので、疲れから体調を崩したりしないよう十分な休息を摂りながら1人ひとりが安心して過ごせる環境作りをしていきたい。また、1人ひとりに合った対応として発達や生活環境を理解して丁寧な関わりを心掛けることを引き続き意識していきたいと思う。

自己点検評価を振り返ったり、令和6年度の1年間で行った研修内容を再度見直すなどして、保育の質の向上に繋げていきたい。

日々の保育を振り返りを大切に、反省しながら、子ども達の姿を保育教諭間で共有し、伝え合っていた。年長1年間を子ども達と大切な思い出作りをすると共に小学校を見据えて、公共の場所での過ごし方、挨拶、イスの座り方、イスに座っての活動、エンピツの持ち方等一つ一つ丁寧に伝えていく事ができたと思う。また、主体的な活動、保育を「節分」という行事を、最初から考え、自分達でやり遂げる力を感じた事で、1人1人の達成感や自信へとつながったと感じている。その活動を通して、子ども達を信じ、待つ事の大切さや、保育教諭がどんな一言を伝える事で、子ども達の力を引き出せるのかの難しさを感じた。主体性の大切さを保育教諭間で話合う上で、いろいろな意見があるが、まず子ども達が主役という事、子ども達から、こんな風にできれば良かった、こんな所がよくできた、等、引き出す為に、わたし達が何ができたのかの話し合いができれば良かったのではないかと反省している。この1年、楽しい事はばかりではなかったが、子ども達の偉大さ無限の可能性、純粋さを改めて感じ、たくさん勇気や力、元気をもらう事ができ、日々充実し、たくさん考える事ができた。子ども達と過ごした1年はわたしの保育人生の中で、かけがえのない1年であった。たくさん相談に乗っていただき、見守って下さりありがとうございます。

未満児クラスに入ることが多く、でこぼこな、それぞれの子ども達の発達の中で、読み聞かせに興味のない子、走り回る子、きりかえに時間がかかる子への対応で、こちらの思いを通してしまうことがあった。この子の育ちは、今どこなだろう？と考えながらの関わりも多かった。他の保育教諭とも、子どもの育ちの関わり方を一緒に悩みながらきたが、もっと専門的な見方ができれば、よいアドバイスが出来たんだらうと、自分の知識の薄さを感じた。ここ数年でクラスに一人以上の気になる子のゆっくりであり、個性ある育ちに関わっていく保育教諭と一緒に悩みながら長い目で子どもの育ちを見守っていけるように来年はしていきたいと思う。

今年度は障がい児への対応の仕方を常に考えながら接してきた。配慮をしすぎて、その子のためにならないかもしれないという思いもあり、どこまで声をかけ、どこまで見守るかということ、同じ組の担任同士で話合う機会を設けながら進めていった。一人ひとり得手不得手もあるので、「この子はここまでやったら終わるのか」「どうしたいのかを聞いてから決めようか」と模索しながらの保育で、そこに正解はないので、迷いもあったが、今後もその子の気持ちを受け止め、共に考えながら関わっていきたく思う。お遊戯会の時に今までは練習をがんばりすぎて、本番あまり笑顔が見られない中踊っていることが多かった。それを反省し今年は笑顔で踊れるよう、自信を持ってやる声掛けや関わりを心掛けていった。すると緊張の中にも自然な笑顔が見られていたので、来年度もたくさん褒めたり、うまく踊れている子の名前を皆の前で読んで「自分も名前を呼ばれたい」「褒められるように頑張る！！」とポジティブな意欲を持ってやるようにしていきたい。来年度は卒園なので、短い1年を有意義に楽しんで過ごしていけるよう頑張りたいと思う。

一人ひとり子どもたちに関わる事が出来て良かった。又その日のようすや家庭での様子をみながらクラスの保育教諭と話し合いこうした方が良いなど、することが出来た。少し自信が無いこともあるので今年度は沢山の保育教諭のいい所を見つけていきたい。

保護者に対する支援ではお帳面や送迎時に園での様子や気になることなどあったときは都度、様子を伝えたり、家での様子も聞きながらやっていけたと思うが、養育方針まで深く話す機会がなかったので、個人面談を行うなどして達成できるようにしたいと思った。社会資源としての支援と連携については、すべての項目について達成度が低かった。コロナも5類に分類されるようになったので、地域交流も今後していきたい。また夏に行われる地域ねぐたでは積極的に参加して盛り上げていけたらと思う。保育の質を高めるため、保育雑誌等を読むなどして現代の保育を知り、ニーズに合わせた保育をしていきたいと思う。また保護者の方が安心して預けられるような保護者支援をしていきたい。

簡単なルールや約束事を伝え毎日、毎日習得できるように関わっているが一進一退という感じがしてならない。子どもの達の質が変わったのか 親の質なのか、、、少なくとも5年前はそんなふうにはなかった。子どもたちと伸び伸び過ごし、遊びの中で色々な事を教え、それが一年ごとに経験として積かさなり成長を感じていたが今のクラスはそれが乏しいと感じる。過保護でもなく過干渉でもなく なんともしない違和感がある。一人一人は違うけれど個性はあるけれど どうして こんなに 多いものか、、、と思う毎日だった。家にいる子どもようすはどうなのか家でどう過ごし、どう親が声かけているのか 親として どんな子どもになってほしいのか どんなふう育てたいのか、そしてそれをすべて私たちにまかせではなく親として何を頑張っているのか 私たちに丸なげではなく もっともつと悩んで育児をしてほしいと思う。そして答えがでなかった時は私たちがアドバイスをしていく。家庭と一緒に育てていくスタンスがなくなってきたと思う。子どもにふりまわされる親であってはならないと思うのだがこの考えはもう古いのかと感じた。今までのやり方ではもうだめなんだとつくづく思う。変わらなければともがいてる日々です。

トイレトレーニングを進級に向け、コンスタントに進めることが中々、スムーズにできず、半数の子がまだ紙パンツのままとなった。トイレトレーニングの進め方を職員間でもっと密に話し合い進める環境を整えた方が良かったと思う。又、家庭での様子や個々の状況確認はその時々で声をかけ合い確認しながら過ごすことができた。障害を感じられる子に対しては、家庭や職員間で情報共有し、3歳児検診の時の声かけに配慮したり、家庭からの相談があった時に丁寧な関わりに配慮した。意思表示の希薄な子や指示の入らない子、又、集中力が散漫になりやすく多動の目立つ子に対しての環境配慮を工夫していきたいと思う。

子ども一人ひとりの発達を理解し、援助するよう心掛けていく。子どもたちの気持ちに寄り添い、子どもたちの言葉にしっかりと耳を傾けながら接することができたと思う。たくさんの方に興味、関心を持ち、挑戦し、できた喜びを感じることができた。友だちとの関わりが増え、トラブルも多かったが、自分の気持ちを伝え、相手の気持ちを考え感じられるよう声掛けを行っていた。

特に大きな事故や怪我をさせる事なく一年を過ごす事ができたので良かったと思う。また、私自身も体調を崩すことなく保育に携わる事ができたので良かった。今年度は子ども一人ひとり誰でも秘めたる可能性を持っている事を強く感じる一年だった。子ども一人ひとりの発達や性格、特徴に合わせた関わり方をする事で子どもの成長、可能性を引き出せるのだと再確認する事ができたのでこれからも子どもを信じて、子どもの自主性、主体性を育てる保育を考え、一日一日を過ごしていきたいと思います。また、昨年度同様、大きな事故、怪我のない様に十分、気をつけていきたいと思います。

今年度は初めての年長クラスで、大事な一年ということもあり、クラス内での情報共有はもちろん、園全体での情報も共有し合うことが出来たと思います。エンジョイサマーフェスティバルや親子遠足なども再開し、それぞれ課題点も見つかったため、次に活かし、より満足して頂けるように努めていきたい。新しい事にも挑戦することが出来ました。保護者との面談では就学に向けての不安などを少しでも軽減できるように、園での様子を伝え家庭での様子を聞き、一緒に考え、少しでも寄り添えることが出来たと思います。節分のドキュメンテーションでも、どうやったらわかりやすく伝わるかを考え写真や文章を考える事ができ、さらに少し成長できたのではないかと思います。今後も様々な事に挑戦しながら、経営理念である「命を守る・スマイル・ハピネス」を大事に保育をしていきたいです。

改めて自分の保育を項目に分けて振り返ると至らない点がたくさんあることを実感出来た。1年目では保育教諭としての業務やこの園での生活の流れ、担当クラスの子どもたちについて知ることが出来た。子どもたちを知る中で1歳児から2歳児までの成長の過程にはどのようなものがあるかを調べ、学び直すことが出来ていたがそれ以外の保護者対応や遊びによる子どもの発達についての知識を深められなかったように感じる。特に遊び、活動は日々成長、変化していく子どもたちに合ったものを展開出来ず同じようなものばかりになってしまっていた。環境構成にもあまり気を配れず子どもたちが活動に集中しにくい状態で行うことも多かったように感じる。1年目よりもさらに今の子どもたちの成長につながる活動について調べて準備していきたい。そして活動を展開する中で月齢の高い子どもも低い子どもも楽しめるように複数の遊びを用意できるようにしたい。この1年はまず他の保育教諭の保育を観察し自分の活動にも取り入れていた。2年目からはそれを続けつつも自分ならではの新しい活動、保育に挑戦してみたい。そのためにも子どもの発達の状況や活動の準備により力を入れていきたいと感じた。

制止するような言葉掛けをしてしまう事がある為、一人一人に寄り添い思いを汲み取った上で、言葉掛けできるようにしていきたい。子ども同士の関わりの中で言葉掛けが足りない部分が多い為言葉の引き出しを充実させることにより実践していき、良好な関係作りができるように配慮していきたい。ZEROROOM担任ということで室内での活動がメインであり地域の方との関わりがあまりなかったが、次年度は外での活動の際は積極的に挨拶を交わす等していきたい。一人一人の発達等に配慮しながら寄り添った保育を心掛けたいが、今年度以上に次年度はよりよい保育ができるようにしていきたい。

今年度は0歳児を担当させて頂きました。子どもたちが初めての集団生活の中で安全に安心して過ごせる事を第一に保育していきたいと思い一人ひとり愛情を持って丁寧に接することを心掛けてきました。0歳児の保育については知識不足なので子育ての経験を元にしながらも他の先生方から、助言を頂いたり、研修に参加させて頂いた事はとても勉強になり、色々な事を学ぶことが出来ました。今年度は自分の中の保育の原点に戻り、子どもたちと接する事が出来たように思います。0歳児担任は私にとって気づきや学びの多い一年でした。この一年を大切に今までの経験におごることなく子どもたちの為に保育していきたいです。

ONEROOMの広い空間をパーテーションを使い保育活動に生かす努力をした。又、コーナー遊びを取り入れることで子どもたちが好きな活動を選び楽しむことができて良かったと思う。子ども一人一人の成長に合わせて援助や言葉かけを工夫することに努めたが、もっといろんな関わりができる様にしていきたい。又、クラス内で活動を振りかえりできたことは良かった。クラス内の話し合いでは、自分の意見を伝えたり、相談することができた。これからは他の職員と協力しながら仕事ができる様な人間関係を築いていきたいです。

子どもたちが、安心してすごせるように、声がけや季節の歌を歌ったり、楽しく過ごせました。最初は人見知りをして泣いていた子たちが、安心して毎日元気にすごせうれしかったです。0ルームは、職員の数も多い為、コミュニケーションがとても大事だとこの1年で感じました。お互いの保育で気になることがあったらそのままにせずきちんと話し合えば、お部屋の先生たちが過ごしやすくなったので、なんでもうやむやにしないで解決できる話し合いを次年度はできるようにしたいです。

後期になり2ROOMでの生活リズムも少しずつ身につけてきているが、それとは逆になかなか進まずできない子もいて その都度 言葉かけをしてできない所は一緒にやったりしていった。おゆうぎ会の練習では子ども達の意欲的な姿が見られ、「かつこいいね！」「上手だったよ！」等褒めながら見守りやる気を促していった。

今年度はTHREEROOMで、担任のサポートとして努めました。先生方と情報共有・自分の考えを時には述べたりしながら日々過ごしました。参観日、運動会、園外保育、おゆうぎ会など行事を通し協力し合いながら子ども達の成長を見守ることができたと思います。

保育が円滑に進むよう、率先して環境設定、環境整備、園児のサポートに努めました。また活動の補助でピアノ伴奏や絵本の読み聞かせ、製作活動の進行や合奏を教える事、スイミングの引率など色々な事に挑戦で良い刺激になりました。今後も保育補助の役割だけではなく、技術面ももっと磨いていきたいです。

今年度は、クラス内に配慮の必要な子どもが多かったので、その子どもに合わせて関わった。その中で様々な発見や気づきがあり、楽しくも、学びになり、毎日、有意義に過ごす事ができたと思う。なかなか、保護者と会って話す機会がなく、面白いエピソードがあっても伝えられない事が多いのだが、ごく、たまにはあるが伝える事ができ、笑顔になって聞いて貰えた時は、話す事ができて良かったと自身も嬉しかった。4人という多い人数で保育をしていたので、伝え忘れや聞き逃しが多かったので、来年度は気を付けていきたい。来年度も携わる先生方のサポートができる様頑張りたいと思う。

# 令和6年度 自己評価結果

(実施日：令和7年5月1日現在)

社会福祉法人ゆきわり会

施設名	認定こども園SHINJO
事業種別	幼保連携型 認定こども園

# 認定こども園SHINJO 自己評価シート①

## 【基本情報】

### 【基本情報】

#### ①施設・事業所情報

名称： 幼保連携型 認定こども園SHINJO	種別： 幼保連携型 認定こども園
代表者氏名： 園長 土岐 美穂	定員（利用人数）： 105名（令和 6年 3月 1日現在 122名）
所在地： 青森市新城字平岡 2 5 2-4	
TEL： 0 1 7-7 8 8-0 8 7 4	ホームページ： <a href="http://www.shinjou-kids.com/">http://www.shinjou-kids.com/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和 3 6 年 1 0 月 1 日	
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 ゆきわり会	
職員数	常勤職員： 24名 非常勤職員 10名
職員配置	職種 人数 職種 人数 職種 人数 職種 人数 職種 人数 職種 人数
	園長 1 副園長 1 主幹保育教諭 2 保育教諭 22 栄養士 1 調理員 3
	准看護師 1 嘱託医 2 学校薬剤師 1 用務員 2 運転手(兼務) 3 事務員 1
施設・設備の概要	(居室数) (設備等)
保育室 6 乳児室 1 遊戯室 1 事務室 1 教材庫 2 調乳室 1 沐浴室 1 遊具保管庫 1 教材保管庫 1 学習室 1 職員休憩室 1 調理室 1 調理員休憩室 1 洗濯室 1 理事長室 1 園児用トイレ・男女トイレ・洗濯室・外部倉庫・音響室	

#### ②理念・基本方針

※詳細、別紙事業計画書のとおり

#### ③施設・事業所の特徴的な取組

・さくらさくらんぼリズム運動を乳児から行い、体幹、表現力の基礎作りや食育の推進を行うために畑での種植えや収穫、収穫したものを利用したおやつ等作っている。月に3回にZERO～FIVEROOMまで“えいごのじかん”を行い、FIVEROOMでは年24回学研エデュケーショナル「まなびタイム」を行っている。ZEROROOMでは午睡時のルクミー午睡チェックを導入し保育教諭とセンサーのダブルチェックを行っている。特別保育事業として延長保育・預かり保育・ふれあい保育を行っている。今年度は地域のお子さんの一時預かりも多くあった。5また、課外活動として英語教室、ピアノ教室、スポーツ教室、また、園バスを利用してヤクルトスイミングスクールに行っている。

・地域の中に小学校が2校ありFIVEROOM（年長児）との交流会など行っている。また、様々な場所に散歩に出かけ、地域の方々とふれあい、また、季節ごとに代わる自然を体験することが出来る。障害がある子ども一つの個性と捉え他の子どもと一緒に生活しているのが特徴の一つである。

#### ④第三者評価の受審状況

	<input checked="" type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> なし（ホームページ内で公開）
評価実施期間	令和 6 年 7 月（契約日）～ 令和 6 年 11 月（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（平成 21 年度）
評価者	一般社団法人チーム結

#### 【自己評価の実施】

##### ①担当者

担当者 園長 副園長 主幹保育教諭

##### ②自己評価の実施体制等

保育教諭の自己点検表を考慮しながら、園長、副園長、主幹保育教諭(2名)による評価会議を行う。

##### ③課題等

自己評価を実施したうえで全体に関する課題や疑問などがありましたらご自由にお書きください。

・事業計画や第三者評価などホームページに記載していることを伝えているが保護者が確認していることはわからない。  
また、地域との連携について、十分ではないと思うが、機会を見つけて関係作りをしていきたい。

# 認定こども園SHINJO 自己評価シート②

## 【共通評価基準】

### 【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「□・☑」)。

## 1 福祉サービスの基本方針と組織

### 1-1 理念・基本方針

1-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	☑	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	☑	ア 理念、基本方針が法人、保育所内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 理念は、法人、保育所が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人、保育所の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	資料作成は行っていないが、事業計画や園だより、入園のしおりに記載し、行事では理事長からの園の方針を話に盛り込んでいる。		☑	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			☑	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			□	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			☑	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			□	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

1-1: 「

1-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	☑	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	□	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	保育のコスト分析やこども園利用者の推移の分析は十分でないと思われるので、これからも課題とするためb評価とした。		☑	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			□	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	☑	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	理事長より会議などで課題など話を聞く機会があり職員それぞれ周知していると思っている。		☑	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			☑	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

### 1-3 事業計画の策定

1-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	☑	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	☑	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	中期・長期計画が明確に事業計画に記載され全職員に配布し必要に応じて見直しに行く体制も構築しているためa評価とした。		☑	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			☑	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	☑	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	具体的な取り組みが明記され実行しやすいものとなっているためa評価とした。		☑	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			☑	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
**【共通評価基準】**

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<input type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	事業計画を策定するにあたり会議や手順を踏んで行っているが全職員の参画・意見の集約という点において難しい点も多い為b評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	事業計画はホームページ内に掲示しているがそれを保護者が確実に見て理解しているかどうかという観点から考えると十分ではないと思われるのでb評価とした。		<input type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

**I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組**

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	第三者評価は受けたが、分析・検討したが、組織としては位置づけられていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	評価結果に対して課題の共有化はできてはいるが、各職員の理解度によると思われるためb評価とした。		<input type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

**II 組織の運営管理**

**II-1 管理者の責任とリーダーシップ**

★「施設長」は、「認定こども園SHINJO園長」と読み替える。「保育」については「認定こども園」と読み替える。

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	事業計画に職務分担として明記され会議等で役割について話している。広報誌(園だより)に園長として文章を掲載しているが責任という点については十分ではないと感ぜられる為b評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	経営に関する研修や勉強会に参加したことはないためb評価とした。(理事長・部長は研修に参加している)		<input type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
【共通評価基準】

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	保護者アンケートのなかから保護者からの要望を集計し、結果を保護者、職員に伝え、教育及び保育の向上に役立たせているが、指導力を発揮できているのかは十分ではないと思えるのでb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取組んでいる。
	経営の改善や業務の実効性について、職員の意識向上は図まだ、十分とは言えないのでb評価とした。		<input type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

**II-2 福祉人材の確保・育成**

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	人事考課制度も取り入れ、人材の育成が図られ、新任研修及び、必要とされる研修を行い、研修に行った職員が講師になり研修報告を行った。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(こども園)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 法人(こども園)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	人事考課やチャレンジシート等によって職員の期待や本人自身の目標が具体化されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	福利厚生については法人全体の意見や国の改正を取り入れたものになっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	人事考課やチャレンジシートを導入し、職員がそれぞれ目標を持ち、それに向けた取り組みがされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア こども園が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、こども園が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	職員の採用時には新任研修を行い、行った際は復命書を記入し、研修内容の定着を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	キャリアアップの研修等(予定)、年間の研修スケジュールを事業計画に明記し全職員に配布し周知を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	実習生を受け入れる体制が整い、毎年受け入れている。マニュアルも整備されているが指導者研修が実施されていないためb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

**II-3 運営の透明性の確保**

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ こども園における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	ホームページで事業計画、事業報告など開示しているが、地域に向けての広報誌などの配布物は行っていないためb評価とした。		<input type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(こども園)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(こども園)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア こども園における事務、経理、取引等に関するルール、職務文庫と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ こども園における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
	公認会計士等の外部専門家などによる監査はこども園独自では行っておらず、法人として実施しているためb判定とした。		<input type="checkbox"/>	ウ こども園の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。
			<input type="checkbox"/>	エ 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
【共通評価基準】

**II-4 地域との交流、地域貢献**

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	地域の親子のために「こどもえんであそぼう」を開催することが今年度でき引き続き地域にある市民センターでの「おやこであそぼう」にも職員を派遣し、小学校との交流会も行った。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ こども園や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	ボランティアの要請があれば、受け入れる体制は出来ているが、今年度はボランティアの要望はなかった。保育実習の受け入れ職業体験の受け入れはできた。		<input type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	関係機関からの情報は職員に伝え共有している。また、児童相談、保健師との連携も図っているが、具体的な取り組みとしては不十分と感じるためb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(こども園)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア こども園(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流や相談事業などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ こども園のもつ機能を地域へ還元したり、関係機関・団体との連携、民生委員・児童委員等との定期的な会議の開催等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。(保育所)
	児童委員・民生委員等と話す機会はあるが、定期的ではないため、積極的に連携を図って行きたい。そのためb評価とした。		<input type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。(こども園)
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動(地域の子どもへの育成・支援、子どもの貧困への支援等)を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
	在園児に対しての延長保育や一時預かり、また一般にも一時預かりを行っている。保育教諭が地域の活動に出向いて参加しているが、防災対策の面で民生委員の方などに協力をお願いしている。		<input type="checkbox"/>	ウ 多様な機関や地域住民等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。
			<input type="checkbox"/>	エ こども園(法人)が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
**【共通評価基準】**

**Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**

**Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス**

※「保育」については「教育・保育」に読み替える。

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア	理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	子どもを尊重した教育・保育を実践し、事業計画などのホームページへの開示などを行っているが、保護者も理解を図る取り組みについては十分ではないと感じるため、b評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/> キ	性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input type="checkbox"/> ク	子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	規定・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した保育が実施されている。
	「個人情報保護規定」整備された保護者に対しても入園時に「個人情報の取り扱いについて」を書面で説明し同意を得ている。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	子ども・保護者にプライバシー保護に関する取組を周知している。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	<input type="checkbox"/> ア	理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	こども園を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	重要事項説明書やホームページで情報を公表しているが、公共の施設等の場に配布してはいなかったためb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	こども園の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	入園の際の重要事項説明書にわかりやすく明記し、その都度対応しているが、特に配慮が必要な保護者がいた場合のルールとしてその場で記入していただいている。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input type="checkbox"/> オ	特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ こども園等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア	こども園等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/> イ	こども園の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	転園があった場合は転園先に児童の要録を送付しているが、利用が終了した際の保護者に相談方法の文書は渡していないためb評価とした。		<input type="checkbox"/> ウ	こども園の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
33	① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア	日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	保護者に対してアンケートを行い、要望や改善点を考慮しながら、個人面談等も必要に応じて行ってきた。保護者が自ら保護者会を行うことは無い為b評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input type="checkbox"/> エ	職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(こども園)
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(こども園)
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(こども園)

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
【共通評価基準】

III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情解決体制が設置され、アンケート調査や園内に入っただけのお迎えとなっているので担任と話しやすい状況(苦情や要望が申し出やすい)になっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	<input type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選ぶことをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	入園の際説明を行っているが、複数の方法という点については伝えていないためためb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
	アンケートや普段の連絡帳(キッズビュー)送迎時の際など保護者からの意見を傾聴する姿勢で対応し迅速に対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	リスクマネジメントの体制が整い、ヒヤリハットの分析等を行い職員に周知している。事故等起こった時には手順に従い行動し、対策を行い、事故防止に繋げている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input type="checkbox"/>	ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	感染症が発生した時にはマニュアルを確認し、見直した、予防策を必要に応じて話し合っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 担当者等を中心として、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 災害時の対応体制が決まっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	災害対策計画は作成され、緊急連絡についても今年度から保護者に対してのEメール配信を行っていくが、地元等の連携体制については町会長に話をする機会があった不十分だと思うためb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決まれば、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input type="checkbox"/>	オ 防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
**【共通評価基準】**

**Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保**

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	指導計画等な子どもの状態などに考慮して保育実践が行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
	検証・見直しに当たり改めて保護者からの意見や提案が反映されているかと思うが十分ではないと思われることからb判定とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 検証・見直しに当たり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input type="checkbox"/>	エ 検証・見直しに当たり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 指導計画作成の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	発達支援施設の方が園に来園し園児に対して必要に応じてアセスメントを行っているが発達障害の園児に限ったことであったためb評価とした。		<input type="checkbox"/>	ウ さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 全体的な計画にもとづき、指導計画が作成されている。(こども園)
			<input type="checkbox"/>	オ 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(こども園)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 計画の作成に当たり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(こども園)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(こども園)
			<input type="checkbox"/>	ク 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(こども園)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	指導計画の中に保育の質の向上に関わる課題など明確さが十分ではないと思う事からb評価とした。		<input type="checkbox"/>	ウ 指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。(こども園)
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	記録の書き方や内容はその都度確認し、指導している。また、情報共有の場として月一回、また、必要となった時にはその都度会議が行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ コンピュータネットワークや記録ファイル等を通じて、事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。
45	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	個人情報保護規程が周知され、また、保護者には入園時に「個人情報の取り扱いについて」という文章を分かりやすく説明し、同意してもらっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート③**  
**【内容評価基準】**

**【自己評価の実施にあたって】**

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「□・☑」)。

※「保育」は、「教育・保育」と読み替える。

※「施設長」は、「園長」と読み替える。

**A-1 保育内容**

A-1-(1) 全体的な計画の作成		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① こども園の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a	☑	ア 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 全体的な計画は、こども園の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。
	全体的な計画は子どもの発達過程や地域の実態に応じて作成している。		☑	ウ 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。
			☑	エ 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。
			☑	オ 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	☑	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ こども園内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	明るい空間で過ごすことが出来ている。		☑	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			☑	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			☑	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			☑	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	☑	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	一人ひとりの子どもの状態(発達)に合わせて、ゆっくり関わることを心掛けている。		☑	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			☑	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			☑	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			☑	カ せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	☑	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	一人ひとりの子どもの発達段階に合わせた関わりをし、定期的な援助の仕方について話し合っている。		☑	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			☑	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるよう工夫している。
			☑	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	☑	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	子どもが自ら遊びたい玩具や素材を自由に使えるように配置している(月齢に応じて)。戸外遊びは午前だけではなく、午後の時間も十分遊ぶことが出来るよう配慮している。散歩に出た際には近隣の方に挨拶をしたり、交通ルールを伝えている。		☑	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			☑	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			☑	オ 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			☑	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			☑	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			☑	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			☑	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			☑	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。

認定こども園SHINJO 自己評価シート③  
【内容評価基準】

6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	0歳児が、安心して、保育教諭等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	月齢によって個人差があり、一人一人の生活リズムを大切にしながら過ごせるよう関わっている。また、保護者からの質問には丁寧に答え、また、発達が見られた時にはキッズビューや口頭で保護者と共感しながら伝えられている。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	友達と関わりたい気持ちが強くなる年齢でもあるため保育教諭は子ども同士の仲立ちをしながら、言葉のやり取り、相手の子の気持ちの代弁を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育教諭等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育教諭等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	保育教諭等が、友だちとの関わりを仲立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	様々な年齢の子どもや、保育教諭以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育教諭等が適切に関わっている。
	集団の中にあっても一人ひとりの関わりが必要な時には十分関わりながらまた、集団へと戻れるように配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育教諭等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	子どもの育ちや取組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	子どもの特性を理解しながら、保護者とも密に連絡を取り合い、必要に応じて面談を行い、相談機関を進めたり、成長が見られた時には伝え合い次に繋がるような教育・保育内容を計画している。また、発達支援施設の担当者と情報を交換・共有することができた。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	子ども同士の関わりを配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	保護者との連携を密にして、こども園での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/> キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/> ク	こども園の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	⑨ それぞれの子ども在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	夕方にはゆったりと遊べるように玩具や絵本を準備し保育教諭とも十分関われるように配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	子どもの状況について、保育教諭間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> キ	担当の保育教諭と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	今年度から架け橋プログラムとして近隣小学校との連携が再スタートし、年長児が小学生と交流や、小学校の教員が園に来て保育参観、教員と保育教諭がオアシス会議を行うことができた。また、今年度は参観日も行事として設け保護者が園での様子を観る機会をつくった。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	保育教諭等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所見聞保育要録を作成している。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート③**  
【内容評価基準】

A-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるときに、事後の確認をしている。
	園内で流行しているものがあれば伝えている。流行する可能性が高い病気に関しては“げんき通信”で知らせると共に玄関先に園内感染の状況も掲示している。また、場合によって各ROOMごとにキッズビューにて伝えることもある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	キッズビューにて内科検診・歯科検診の結果を伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	アレルギー除去食は食器の色や御盆で区別し名前も分かるように記載している。また、必要に応じてアレルギー検査を保護者に行うようお願いしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者との連携を密にして、こども園での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	玄関前に本日のメニューを掲示し給食が出来た時には園内にサンプルを展示している。給食時には盛り付けの際、保育教諭が子どもに食べられる量を確認しながら配膳している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	地産地消を心掛け添加物の入っていない食材を考慮しながら作っている。また、新メニューに取り組み子ども達が楽しみに出来るように心がけている。栄養士から子ども達へ話をすることも設けることができた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 残食の調査記録や検査簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

**A-2 子育て支援**

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	園児が帰園の際は保護者の方に園児のいる部屋まで来たいただき担任と直接話せる機会が増えた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート③**  
【内容評価基準】

A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
	連絡帳(タッチビュー)へのやり取りや上記で記載した内容と必要に応じて面談などを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ こども園の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育教諭等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかにこども園内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	児童相談所や保健所内のはぐみプラザとの情報提供の体制もでき、子どもに状態に変化がある場合は連絡をすることになっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

**A-3 教育・保育の質の向上**

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育教諭等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 保育教諭等が主体的に教育・保育実践の振り返り(自己評価)を行い、教育・保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育教諭等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの教育・保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
	自己評価や研修を行う事で日々の教育・保育内容を振り返ることが出来ていると感じる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育教育等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育教諭等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育教育等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保育教育等の自己評価を、こども園全体の教育・保育実践の自己評価につなげている。